

代表質問・質問について

9月8日、9日、12日、13日の4日間で33人の議員が代表質問、質問(個人質問)を行いました。その一部を質問順にお伝えします。(表記方法は会派の意向を尊重しています。また、記事の内容および所属会派は令和4年9月定例会の代表質問・質問時点のものです。)

詳細な内容は、会議録をご覧ください。会議録は、市役所の市民総務室(情報公開)、図書館等に備えています。

なお、新型コロナウイルス感染症については、新型コロナと略して表記しています。

代表質問

今定例会では7会派が代表質問を行いました。



自由民主党 白石 透

開発の進む藤白台小学校区の学校規模適正化について

問 藤白台小学校区や青山台小学校区の保護者に学校規模適正化に係る説明会を実施したと聞く。保護者やPTAは、国立循環器病研究センター跡地を含めた藤白台5丁目の一部を青山台小学校区とすることについて、どのように捉えているのか。

答 両校の保護者および未就学児の保護者に向け延べ8回実施した説明会で、出席者から反対意見はなく、市の方向性に納得できたとの意見を聴取した。また、PTAとは随時情報共有を行っており、保護者と同様に納得しているとの回答を得ている。

問 学校規模や校区が変更となった場合、通学路の安全確保が最も重要と考えるが、見解を問う。

答 関係部局と連携し、グリーンウォーク、横断歩道の設置や塗り直し、防犯カメラの設置など、多様な安全確保策を検討しており、吹田警察とも協議している。関係機関とともに、通学路の合同点検を実施し、適宜必要な措置を行い、安全確保に努める。



民主・立憲フォーラム 川本 均

帰宅困難者への対応は

問 大規模災害発生時には、被災者の救急救命等は当然だが、帰宅困難者への対応も重要である。市外から本市へ帰宅を求める方への情報提供方法や、平時での情報周知等について、市の取り組み状況を聞きたい。

答 帰宅困難者へは、大阪府等と連携した広報活動など、あらゆる手段で情報発信を行う予定である。また、平時には自治会等とも連携した定期的な広報や、訓練の機会等を通じて、引き続き帰宅困難対策の周知を図る。

運動部活動の地域移行について

問 国の有識者会議において、運動部活動の地域移行に係る提言がまとめられた。令和5年度からの3年間で改革集中期間として位置づけられているが、本市で地域移行した場合に想定される効果や課題を聞きたい。

答 生徒の多様なニーズに応えることに加え、教職員の授業準備時間の確保など、教育の質の向上が期待できる。一方で、各種大会への参加機会確保等の解決すべき課題も多くある。



公明党 浜川 剛

子どもの心の健康把握について

問 文部科学省委託事業として、ICTを活用した子どものメンタルヘルスを把握する取り組みが、9月から5校で始まっているが、児童・生徒や教職員にどのようなメリットがあるのか。また、全校実施が最適と考えるが、教育長の所見を問う。

答 児童・生徒にとっては、気軽に相談できること等、教職員にとっては、子どもの変化に気付きやすくなること等がメリットと考える。

答教育長 今後、成果を全市で活用できるように、一層の研究を進める。

高齢者の居場所を拡充せよ

問 高齢者にとって他者との関わりは重要であり、高齢者の交流の場を、小学校区に複数整備する等、拡充を図るべきではないか。

答 高齢者の交流の場は、ふれあい交流サロンのほか、小学校区ごとに高齢者いこいの間等がある。今後、高齢者はもとより、多様な人々が集う居場所づくりについて、関係部署と連携し、制度の拡充等を議論する。



吹田新選会
後藤 恭平

少子化対策について

問 不妊治療は、令和4年度から保険適用されているが、その件数の推移について問う。また、保険適用は最低限の支援であり、さらなる拡充が必要と考えるが、検討状況や市の少子化対策の方向性を問う。

答 助成件数は、令和2年度743件、令和3年度は、要件改正等の影響で1163件である。保険適用後も不育症支援など市独自に必要な支援策を講じているが、今後も、国の動向や保険適用後の状況を注視する。

答副市長 子育て家庭の経済的、身体的、精神的負担軽減を図るため、各施策を進める。

動物愛護について

問 動物の愛護及び管理に関する規則に、殺処分という表現がある。動物への愛護の気持ちが欠けており、改正してはどうか。

答 回復等の見込みのない動物の苦痛を取り除く措置として殺処分という文言を使用しているが、誤解を招くおそれがあるため、見直したい。



大阪維新の会・吹田
高村 将敏

本庁舎改修工事について

問 27億円をかけて本庁舎の増築、改修を行う予算案が提出されたが、本庁舎は今後建て替えを計画しており、長く使用しても約15年間の建物を、高額な予算をかけて整備する必要性は乏しいと考える。既存設備を活用した課題解決は検討したのか。

答 既存設備では、バリアフリー対応や利便性の課題解決ができず、低層棟に接続するエレベータおよびトイシを備えた棟の増築が必要である。

一時預かり事業の利用改善を

問 保育所や認定こども園での一時預かり事業の利用申し込みは、現状では各園への電話確認が必要である。窓口の一元化や、申し込み可否の確認ができるシステムの導入により、手続きの改善を図るべきでないか。

答 安全に保育を実施するための事前聞き取りの必要性などから、すぐに簡略化、効率化することは困難だが、利用者の利便性の向上のため、他市における一時預かり予約システムの導入状況の把握に努める。



市民と歩む議員の会
五十川有香

コミュニティスクールについて

問 学校と地域が協働で学校運営に取り組むコミュニティスクールについて、校区変更等の課題を抱える本市においても具体的に導入を検討すべきである。当事者である子どもに意見聴取したうえで、制度導入に向けて協議の場を設けるべきでないか。

答 本市では、当該制度に先行して、地域連携を基盤とした学校運営に取り組んでいるが、これまでの取り組みを踏まえつつ、先行事例も参考に、導入に向けた課題を検討していく。

国旗掲揚の取り扱いを見直せ

問 安部元首相の葬儀の際に、教育委員会は半旗掲揚の要請を各学校に行った。市の施設に準ずるとした国旗掲揚の取り扱い、非公開の協議の場で決定されたものであり、市と教育委員会の判断は別との市長の発言も踏まえ、政治的中立性に反する同取り扱いは見直すべきではないか。

答 教育委員会内で十分に検討したうえで、同取り扱いを決定したものであり、今後も見直す予定はない。



日本共産党
益田 洋平

中学校給食は市が直営で実施を

問 安心、安全な学校給食の提供を担保するには、学校給食法に基づく衛生管理を市の責任で行い、公設で給食調理場を整備する必要があると考える。全員喫食を進める中学校給食は、自校調理、親子方式を含め、給食センターの複数整備など公設公営での実施を求めるが、見解を問う。

答 民設民営での実施を含めて検討しているが、いずれにしても安心安全で、おいしく、楽しく食べられる給食の提供を目標に検討を進める。

パートナーシップ宣誓制度の導入

問 令和4年5月定例会で、会派としてパートナーシップ宣誓制度の創設を求め、市長は検討を進めると答弁している。9月1日から同制度の府内自治体間の連携が始まったため、本市も制度を導入すべきでないか。

答 令和5年4月からの制度の導入に向けて準備を進める。

答市長 人権的配慮を求める声に応える行政の責任を果たし、同制度が社会で一般的になることを望む。

定例会の概要 代表質問 質問

常任委員会 議決結果 意見書等

質問(個人質問)

今定例会では26人の議員が質問(個人質問)を行いました。
会派名は質問日の所属会派を表記しています。



市民と歩む議員の会
馬場慶次郎

隠れ待機児童の解消を

問 特定の保育所を希望している等の理由で、認可保育所に入所できていない隠れ待機児童の問題は、少子化対策等のためにも解消すべきである。同問題の解消に向けた保育所等の整備について、市の方針を示せ。

答 現在、未就学児童数の推移等を最新の情報に置き換え、保育必要量の見込みを改めて算出し、整備する施設数、必要性の検討を行っている。



無所属クラブ
生野 秀昭

府内1位の市長給与と退職金

問 都市規模は府内6位だが、市長の給料等は府内1位である。市長は過去の委員会で社会状況に応じ見直すとは回答した。府内22市が減額し、また、市長給与に地域手当は不適当との国の通知があるが、見解を問う。

答市長 対応はしない。府内33市中11市が減額しておらず、中核市間の比較や、自治省から総務省に再編後、不適当との指導もないためである。




自由民主党絆の会
藤本 栄亮

eスポーツの推進を

問 eスポーツを活用した取り組みを推進する他市事例がある。本市もハード、ソフトともにeスポーツの土壌があり、聖地となる可能性があるが、推進に取り組んではどうか。

答 スポーツ推進計画の策定に当たり実施するアンケートにeスポーツの項目を設け、市民ニーズの把握に努めるとともに、他市事例も参考にeスポーツの方向性を検討する。



市民と歩む議員の会
池淵佐知子

旧統一教会と市の関係を問う

問 首長等に旧統一教会や関連団体との関係の有無を調査しているとのニュースがあったが、本市において当該団体等との関係はあったのか。

答 仲介者があり、当日まで団体の詳細を知らずに新型コロナウイルスに関する寄付を受けた事例が1件あった。その後、同団体を調べた結果、旧統一教会との関連性が認められたため、現在、寄付金の返還を申し入れている。



大阪維新の会・吹田
橋本 潤

子どもの学校外学習を支援せよ

問 教育格差の解消や子育て世帯の経済的負担の軽減、子どもたちが才能を開花させる機会の提供のため、他市を参考に塾や習い事の助成を実施してはどうか。市長の見解を問う。

答市長 ニーズがあることは認識しているが、まずは学校教育の充実を図り、教育本来の姿を追求することにも、他市を参考に経済的に恵まれない子どもへのサポートを検討する。



公明党
小北 一美

注意喚起灯の設置等について

問 設置基準が厳しく、設置が進まない信号機に比べ、注意喚起灯は低価格で、自治体の裁量により設置できる。信号機のない危険な横断歩道の調査や注意喚起灯の設置基準等を整理し、取り組みを進めてはどうか。

答市長 通学路や危険性の高い箇所、地域住民から改善要望のある箇所を優先し、注意喚起灯の設置も含め、効果的な施策の実施を検討する。



民主・立憲フォーラム
西岡 友和

北千里駅前の再整備について

問 北千里駅前の再整備は、令和8年度に工事中工予定だが、すでに同駅前には空き店舗が連なる状況にある。再整備完了までの期間においても、活性化を図る必要があると思うが、市の考える具体的な方策はあるのか。

答 再整備完了までの期間中においても、当該地区のにぎわいや必要な商業機能等の保持に努めた事業計画となるよう権利者等と共有していく。



大阪維新の会・吹田
齋藤 晃

市庁舎の違反建築懸念

問 前回の定例会で市庁舎高層棟の建築基準法違反を指摘した。法改正により現在は適法の可能性はあるが、過去の資料等から考察すると、建築時から長年にわたり違法であった疑いがある。同件への市の見解を問う。

答 当時の道路状況等を確認できていないため、見解は回答できない。

問 いつ確認するのか。期日を示せ。

答 期日は現在回答できない。



日本共産党
玉井美樹子

吹三地区公民館の工事について

問 建て替えに伴う解体工事で、石綿に関する新たな基準は適用されているか。また、隣接するひまわり遊園の整備は、地域の意見を聞き、よりよい遊園となるよう検討せよ。

答 解体工事に関する石綿含有建材の処理は、令和2年に改正された法令に基づき実施する。また、遊園の整備は、説明会等で要望や意見を伺い、よりよい遊園となるよう努める。



民主・立憲フォーラム
山本 力

中核市移行の振り返りについて

問 中核市への移行前、市民からは、移行による負担増等により市民サービスの低下を懸念する声が多く寄せられていた。移行してから2年以上が経過したが、このような市民の懸念点は払拭できているのか。

答 負担増によるサービス縮小等は行っており、今後も移行により得た権限を生かし、市民満足度向上につながるサービスの充実に努める。



日本共産党
竹村 博之

旧統一教会への認識について

問 旧統一教会と首長等の不適切な関係は、厳しく追及する必要がある。政治家との関係は、地方政治がゆがめられないよう、きざんとした態度が求められるが、市長の見解を問う。

答 巧みな手段で入り込むため、利用されないよう十分注意する。また、公的立場にある者は、立場を利用してほかに関係を促すことなどは、現に慎むべき行為と認識している。

会派の構成 ※会派内の順序は議席番号順(11月1日現在)

日本共産党(7人)

- 益田 洋平
- 山根 建人
- 柿原 真生
- 竹村 博之
- 村口久美子
- 玉井美樹子
- 塩見みゆき

公明党(7人)

- 浜川 剛
- 井上真佐美
- 吉瀬 武司
- 坂口 妙子
- 矢野伸一郎
- 野田 泰弘
- 小北 一美

自由民主党絆の会(6人)

- 泉井 智弘
- 白石 透
- 藤木 栄亮
- 澤田 直己
- 石田 就平
- 里野 善徳

大阪維新の会・吹田(4人)

- 馬場慶次郎
- 橋本 潤
- 高村 将敏
- 井口 直美

民主・立憲フォーラム(4人)

- 西岡 友和
- 木村 裕
- 川本 均
- 山本 力

吹田新選会(3人)

- 有澤 由真
- 後藤 恭平
- 石川 勝

市民と歩む議員の会(2人)

- 五十川有香
- 池淵佐知子

無所属クラブ(1人)

- 生野 秀昭

党派はなし(1人)

- 齋藤 晃

※9月23日付けで齋藤議員が会派「大阪維新の会・吹田」を離脱し、会派「党派はなし」を結成しました。

※11月1日付けで馬場議員が会派「市民と歩む議員の会」を離脱し、会派「大阪維新の会・吹田」に入団しました。

※本市議会の議員定数は36人ですが、令和4年10月9日付けで松尾翔太氏が議員辞職したため、現在の議員の人数は35人となっています。

定例会の概要 代表質問 質問

常任委員会 議決結果 意見書等



民主・立憲フォーラム
木村 裕太

旧統一教会との関わりについて

問 旧統一教会が国の政策に影響を与えた疑惑が報道されているが、本市でも議員の紹介で関連団体から寄付を受けた事実があった。宗教と政治の過度な関わりは注意すべきだが、同事案を市長はどう考えているのか。
答市長 法的な成否の問題以前の李下に冠を正さずというモラルの問題として扱う必要がある、統一地方選挙が近づく中、他山の石としたい。



大阪維新の会・吹田
井口 直美

農業委員定数の見直しを

問 令和3年度末に都市農業の方向性が決まれば、農業委員定数も一定の方向性を出す過去に市は答弁したが、その検討時期となった。本市と同程度の面積だが、定数は少なく、議員も未選出の豊中市を参考に、定数等の見直しを検討すべきでないか。
答 農業委員の定数については、本市における都市農業の現状と課題を踏まえ、総合的に判断していく。



公明党
野田 泰弘

不登校の対応策について

問 さまざまな理由により不登校になる児童・生徒が年々増加している。対応が難しくなる不登校の問題を、どのように取り組むか、見解を問う。
答 不登校の問題は、学校復帰のための多様な支援はもとより、安心できる学校づくりこそが課題である。未然防止につながる学校づくりや、ICTを活用した受け皿の構築など、社会的自立への取り組みを検討する。



公明党
矢野伸一郎

部活動の地域移行を問う

問 国では、中学校部活動の地域移行が議論され、令和5年度から3年間を「改革集中期間」と位置づけている。どのような改革が望ましいと考えるか、予算も含め見解を問う。
答市長 地域関連団体との適切なマッチングが重要と考え、生徒が新しい経験を楽しめることを期待する。また、経費の問題も、一定時間をかけて最適化が図られると考える。



自由民主党絆の会
石田 就平

オンラインサービスの改善を

問 電子申込システムは、手続を分類別で探す項目がなく、非常に検索しにくい。また、公共施設予約・照会システムもオンラインで施設予約や利用者登録ができない施設があり、改善すべきと考えるが、見解を問う。
答 市民の利便性向上に資するよう、検索機能の向上に努める。また、施設追加や行政手続の電子化実現に向け、引き続き関係部局と連携を図る。



自由民主党絆の会
泉井 智弘

遊具等の更新を丁寧に周知せよ

問 小学校および公立保育所等に設置している遊具や体育器具の更新は、令和5年度中に完了を予定しているが、小学校や保育所ごとに整備時期が異なるため、保護者に対して、丁寧に説明するべきではないか。
答 保護者に対して、小学校ごとに具体的な整備時期を通知する。また、保育所等でも、園ごとの修繕状況や具体的な整備時期を通知する。



公明党
井上真佐美

デザインマンホール蓋の活用を

問 本市の魅力を発信する多様なマンホール蓋が作成されている。新たな自主財源の確保や下水道事業の啓発のため、これらを活用し、本市独自の取り組みを検討してはどうか。
答 先進事例を調査・研究するとともに、マンホール蓋を活用した市民向けの広報活動を続けていく。
答市長 マンホール蓋を活用したPRの取り組みをさまざまに展開する。



日本共産党
山根 建人

地域主体による交通の導入を

問 高齢化に伴い、既存の交通機関では外出困難に陥る状況が発生している。継続的な移動支援の取り組みとして、地域主体による交通手段の導入の仕組みを検討することだが、具体的な検討内容を答えよ。
答 点在する公共交通空白地において、住民が主体となり運営する交通の導入に向け、市の側方支援策を地域公共交通協議会で慎重に検討する。



日本共産党
塩見みゆき

グループホームの整備促進を

問 重度障害者等は、既存建物での受け入れが難しく、新たな施設の整備が必要である。事業者に対する建設協力金制度等、資金面の支援などについて、所見を問う。

答 重度障害者が利用可能なグループホームの整備について、施設や設備、人材確保のための支援策が必要と考えており、他市の事例等を踏まえ、効果的な施策を検討する。



日本共産党
村口久美子

シルバー人材センターへ支援を

問 公益法人のシルバー人材センターの運営は収支相償が原則で、新たな税負担の財源はなく、インボイス制度導入はセンター運営に大きな影響を与える。支援が必要ではないか。

答 シルバー人材センターが高齢者の生きがいづくり等に寄与していることは十分認識しており、同センターの事務費改定について、関係部局に情報提供し、対応を依頼している。



吹田新選会
有澤由真

本市と自衛隊との連携について

問 有事の際に、本市と自衛隊との連携に関する取り決めはあるか。また、平時から自衛隊との関係強化も重要と考えるが、市の所見を問う。

答 地域防災計画で、有事の際は、相互に協力して防災活動を行う取り決めがある。また、平時から、担当者間の顔の見える関係を築くとともに、訓練等を通じた連携強化に努め、有事での円滑な活動体制を確保する。



公明党
吉瀬武司

地域包括支援センターの拡充を

問 現在、地域包括支援センターは、中学校区単位に設置されている。超高齢化社会等、複雑化する課題が増加する中、同センターの連携体制を活用し、小学校区単位の設置に業務拡大すべきと考えるが、所見を問う。

答副市長 同センターのような多機能連携機能をもつ拠点が、市民に身近な場所で整備できるよう、地域の実情に応じた設置数等を検討する。



日本共産党
柿原真生

身体障害者に寄り添った改修を

問 屋根のない駐車場の身体障害者用駐車スペースでは、雨にぬれて車から降り、車いすに乗り移ることが前提となる。本庁舎ならびに屋根が未設置の公共施設に、直ちに設置すべきと考えるが、見解を問う。

答 本庁舎については、できるだけ早く設置できるよう検討する。また、今後、他の公共施設については、設置可能性および必要性を検討する。



自由民主党絆の会
里野善徳

不登校児童・生徒支援の充実を

問 不登校児童・生徒の支援として、教育支援教室への支援学級在籍者の受け入れや、民間フリースクールに通う子どもがいる困窮家庭に対し、金銭的支援が必要ではないか。

答 支援学級在籍者の受け入れは、教育支援教室の在り方等を関係室課による会議体で検討する。また、困窮家庭への金銭的支援は関係部局と連携し、他市事例等の把握に努める。



吹田新選会
石川勝

新しい修学旅行の在り方を

問 学習指導要領に示されている修学旅行の本来の狙いを鑑みれば、広島や平和学習ありきという前例踏襲ではなく、新しい在り方を自由に議論、企画できる環境整備が必要と考えるが、見解を問う。

答 修学旅行の狙い等を踏まえ丁寧な検討は重要で、前例踏襲ではなく児童、生徒の学び等の実態に応じ、各学校が判断すると認識している。

生中継画面に字幕を追加しました

本会議や予算常任委員会(全体会)のインターネット放映を実施しています。令和4年11月定例会から生中継画面に字幕機能を追加しました。インターネット放映は、パソコンのほか、スマートフォンなどの携帯端末からでも視聴できます。

市議会ホームページの「議会中継(インターネット)」からアクセスして、ぜひご覧ください。



議会中継

定例会の概要
代表質問
質問

常任委員会
議決結果
意見書等